

第一二三回
川崎市定期能

能と狂言



二部：能「舍利」高橋 忍
撮影：辻井清一郎



一部：能「羽衣」金春憲和
撮影：辻井清一郎

第一部

狂言

昆布売
【こぶり】

大藏教義（大藏流）

12時30分開場
13時00分開演

能

羽衣
【はごろも】

山井綱雄（金春流）

第二部

狂言

伯母ヶ酒
【おばがさけ】

大藏教義（大藏流）

15時00分開場
15時30分開演

能

舍利
【じやり】

本田芳樹（金春流）

◆平成30年3月25日（日）
◆会場：川崎能楽堂
◆入場料：各部 4,000円
◆（全席指定） U25 3,000円

※座正面・中正面エリアのみ優先可25歳以下の方
購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください

チケット発売日 平成30年2月14日（水）午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売（先着順）*残券があれば、同日正午より電話・ホームページでも販売いたします。

チケット取扱・
お問合わせ

川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37（9:00～17:00）
*但し初日のみ電話受付は正午から。窓口完売の際は電話での受付はいたしません。
川崎市文化財団ホームページ <http://www.kbz.or.jp/event/noh/20180325/>
*ホームページより申し込みの場合、予約確定は申し込んだ日の翌日となります。



主催：（公財）川崎市文化財団 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.044-222-8821/FAX.044-222-8817
*開演後にご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

定期能をより楽しむための事前講座

演目や能について能楽師が
実演つきでわかりやすく解説します。 ◆日時：平成30年3月10日（土）10:00～12:00 ◆講師 高橋 忍（金春流・シテ方）他 ◆定員：148名（先着順）
◆会場：川崎能楽堂 ◆料金：無料

*第113回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。 *受講をご希望の方にはチケットご購入の際に整理券をお渡しいたします。

【第一部】午後1時開演（午後12時30分開場）

狂言 昆布売

シテ大名 大藏 教義 アド昆布売 宮本 昇
後見 上田 圭輔

能 羽衣

シテ天女 山井 綱雄

大鼓 柿原 光博 太鼓 吉谷 潔
小鼓 住駒 充彦 笛 小野寺竜一
後見 辻井 八郎 中村 昌弘 金春 憲和
本田 芳樹 地謡 本田布由樹 高橋 忍
大塚龍一郎 井上 貴覚

狂言 昆布売【こぶり】

供も連れずに自ら太刀を持ってでかけた大名が、供の代わりとして同行する人を得るため、休んで待っていると、そこへ若狭の小浜の昆布売が通りかかります。大名はすぐさま声をかけ、自分の太刀を持つてくれるよう頼みますが、なかなか承諾してくれない為……。下剋上の有り様を痛烈に描くとともに、小歌節・平家節・踊り節などの中世歌謡を取り込んだ売り声が、狂言ならではの楽しい曲です。

能 羽衣【はごろも】

駿河国（静岡県）三保の松原の漁夫白龍（ワキ）が釣りに出かけ、のどかな浦の景色を眺めていると、一本松の木の枝に美しい衣がかかっているのに気付きます。家の宝にしようと持ち帰りかけると、一人の女性（シテ）が現れて白龍を呼び止め、それは自分のものだから返してほしいと頼みます。その女性は天人で、衣が天の羽衣であることを聞かされた白龍は、そんなに珍しいものかとさらに喜び、それならば国の宝にしようと返すのを拒みます。羽衣がなくては天に帰れないと空を仰いで嘆き悲しむ天人の姿を哀れに思った白龍は、羽衣を返すかわりに天人の舞楽を見せてほしいと頼みます。衣が無くては舞えないという天人に、白龍は衣を返してしまつたら舞を見せずにそのまま帰って行くのではないかと疑うが、そのようなことは人間のすることではないかと諭され、白龍は自らを恥じ、衣を返します。天人は羽衣を身にまとい、月世界における天人の生活の面白さや、三保の松原の春景色を讃えた「駿河舞」を舞いながら、天空へと昇っていきます。

【第二部】午後3時30分開演（午後3時開場）

狂言 伯母ケ酒

シテ甥 大藏 教義 アド伯母 宮本 昇
後見 上田 圭輔

能 舍利

ツレ草駄天 中村 昌弘
後シテ足利鬼 本田 芳樹

大鼓 柿原 光博 太鼓 吉谷 潔
小鼓 住駒 充彦 笛 小野寺竜一
問能方 善竹富太郎
後見 高橋 忍 大塚龍一郎 山井 綱雄
金春 憲和 地謡 本田布由樹 辻井 八郎
渡辺 慎一 井上 貴覚

狂言 伯母ケ酒【おばがさけ】

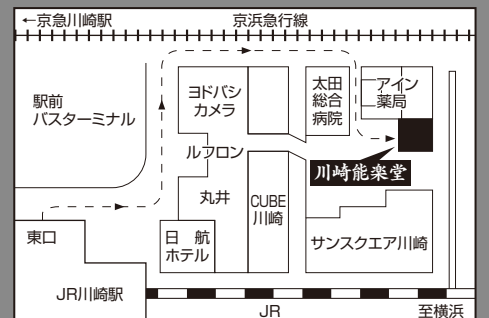
酒屋を営む伯母を甥が訪問します。伯母は一度も酒を振舞つてくれたことがないので、今日こそはと店を訪れいろいろと口実をもうけては何とか酒を出させようとしますが、伯母はその手にはのりません。そこで、この付近には近頃鬼が出るとの噂があると脅かしておいて、甥は帰ると見せかけて、鬼の面をかぶり改めて伯母の店を訪ねます。恐れ逃げ惑う伯母に鬼は大声で脅して酒を飲ませると迫り酒蔵で酒を飲み始めるのですが……。

能 舍利【じやり】

旅の僧（ワキ）が、都を見物しようと京都へ上つて来ます。そして唐の国から渡つて来たという十六羅漢や仏舍利（釈迦の歯の遺骨）を見ようと、東山の泉涌寺にやつて来ます。寺の僧の案内で、舍利を拝んで感激していると寺の近くに住むという男（前シテ）がやつて来て、一緒に舍利を拝みます。そして、舍利のありがたいわれを語つていますが、突然辺りの景色が一変し、雷光が閃くと男は、自分はこの舍利を望んでいた昔の足利鬼の執心であると言ひ、舍利を奪ひ、天井を蹴破つて飛び上がりそのまま姿を消してしまいます（中入）

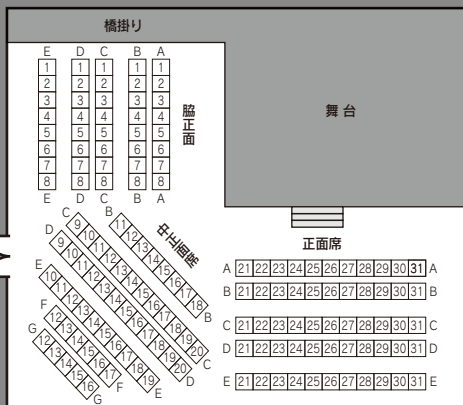
僧は、物音に驚いて駆けつけた寺の僧（アイ）から、釈迦入滅の時に足利鬼という外道が舍利を盗んで飛び去つたが、草駄天という仏が取り返した、という話を聞きます。そして、二人が祈ると、草駄天（ツレ）が現れ、足利鬼（後シテ）を天上界に追い上げ、下界に追いつめ、舍利を取り返します。

川崎能楽堂案内図



JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス（JR川崎駅まで）品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂座席表（148席）



※U25券は脇正面席・中正面席のみ選択可。

次回公演のお知らせ

平成30年5月3日（木祝）14時開演

能と狂言 人間国宝の競演

友枝昭世と山本東次郎の至芸

会場：川崎市麻生市市民館ホール
（小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分）

狂言「通門」シテ 山本東次郎

能「一巴」シテ 友枝 昭世

*チケット：川崎しんがら芸術祭アルティマム（04）2018
チケットセンター TEL.044-955-3100

平成30年5月22日（火）

第43回川崎大師新能

会場：大本山川崎大師平間寺 特設舞台
※雨天時、信徳会館（予定）